

2024 活動報告 ジャパンデータリポジトリ ネットワーク (JDARN)推進部会

JDARNの設立目的

**よりよい研究データ
管理と運営がわかる
専門家集団を目指し
ています。**



現在のメンバーは約25名

1. 国内にあるデータリポジトリの信頼性を国際的に期待されている水準に高める。
2. データリポジトリへの要求の多様化に対し、共通の課題を議論する。
3. データリポジトリコミュニティを作る。

これまでの主な活動

1. **2017年10月**:
「国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築」小委員会として設立
2. **2017年12月**:
CoreTrustSeal(CTS)を使ったセルフアセスメントを試みるワークショップを開催
3. **2018年2月～9月**:
CTSの日本における適用可能性を議論
⇒データリポジトリに要求される項目を「アイテム」としてCTSから抽出
4. **2018年10月**:
ジャパンデータリポジトリネットワーク(JDARN)小委員会として再始動
5. **2018年10月～2019年3月**:
上記「アイテム」を基に「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」として必要な内容を整理・議論
6. **2019年4月～2021年1月**:
リポジトリ関連の勉強会やミーティング等
7. **2021年2月～**:
ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)として活動
8. **2022年11月**:
各分野のリポジトリを同一の基準でまとめたリポジトリリスト試案を公開

これまでに作成したJDARNの成果物は、
https://japanlinkcenter.org/rduf/about/index.html#s004_0
から公開しています。



研究データリポジトリ整備・ 運用ガイドライン

JDARNで作成した原案が採用され、**2019年3月**に
内閣府「国際的動向を踏まえたオープンサイエンス
の推進に関する検討会」の文書として発行

- **2018年10月**：上記検討会（第7回）で途中経過を発表
<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/7kai/7kai.html>
- **2018年12月**：内閣府と合同でワークショップを開催

研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン

平成31年3月29日
国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの
推進に関する検討会

1. 研究データの保存・公開とデータリ
ポジトリの整備・運用
2. 研究データリポジトリの定義及び役割
3. FAIR原則
4. 信頼できる研究データリポジトリの整
備・運用に関する要件

<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/guideline.pdf>



リポジトリリスト試案

項目名	必須/任意	例: GlycoPOST	例: LSDBArchive	例: MDR	例: Nagoya repository	地球環境データベース (GED)
ID	必須	undefined	undefined	undefined	undefined	undefined
リポジトリ名	必須	GlycoPOST	カイク	Materials Data Repository	学術機関リポジトリ	地球環境データベース
リポジトリ名 (略称等)	任意	GlycoPOST	LSDB Archive	MDR	Nagoya repository	GED
リポジトリurl	必須	https://glycopost.glycosmos.org/	https://dbarchive.biosciencedbc.jp/index.html	https://mdr.nims.go.jp	https://nagoya.repo.nii.ac.jp/?page=1&size=20&sort=custom_sort&search_type=0&q	https://db.cger.nies.go.jp/ged/ja/index.html
リポジトリ識別子名	任意		re3data	re3data		
リポジトリ識別子値	任意		http://doi.org/10.17616/R3894W	http://doi.org/10.17616/R31NJMWR		
ミッション・概要	必須	質量分析のメタデータと生データを登録	カイクは、国内のライフサイエンス研究者が生み出したデータセットをわが国の公財としてまとめて長期間安定に維持保管し、データ説明(メタデータ)を統一して検索を容易にすると共に、利用	材料研究データや文献等を保存・公開しているデータリポジトリです。	大学の研究者、大学院生等による研究論文・学位論文・学会発表論文・教材などを収集し、インターネットにより無償公開していく仕組みです https://nagoya.repo.nii.ac.jp/wg/get/uploaded/yoko_20210312-re.pdf/Root%20Index	国立環境研究所(CPI)・地球システム領域(ESD)地球環境研究センター(CGER)では、地球温暖化をはじめとする地球環境問題に関する自然科学・社会科学分野の研究で得られたデータや成果を収集・整備し、公開する基盤データ
ミッションurl	任意		https://dbarchive.biosciencedbc.jp/contents/about/about.html	https://dice.nims.go.jp/services/MDR/	https://nagoya.repo.nii.ac.jp/wg/get/uploaded/yoko_20210312-re.pdf/Root%20Index	https://db.cger.nies.go.jp/ged/ja/about.html
運営計画url	任意		https://dbarchive.biosciencedbc.jp/contents/about/about.html	https://dice.nims.go.jp/services/MDR/		
リポジトリタイプ	必須	分野別リポジトリ	分野別リポジトリ	リポジトリ	機関リポジトリ	分野別リポジトリ
リポジトリサイズと確認日	任意	206 projects, 1.6TB 2022/7/14	153データセット、約150TB	2344件	件数を書くべき? ちなみ	2022/8/19
データ最終更新日	任意		2022/10/3	2022/07/15		2022/8/5
リスト登録日	必須	2022/7/14	2022/7/12		2022/7/15	2022/8/19
リスト最終更新日	必須	2022/7/14	2022/10/25		2022/7/15	2022/8/19
言語	必須	英語	日本語/英語	英語	日本語/英語	日本語/英語
リポジトリ公開日	任意	記載不明	2009/3/18	2020/06/15	2015/03/18	2014/05
稼働状況	必須	稼働中	稼働中	稼働中	稼働中	稼働中
稼働状況確認日	必須	2022/7/14	2022/10/25	2022/07/15	2022/07/15	2022/8/19
リポジトリ分野	必須	生命科学	生命科学分野	材料科学分野	全般??	地球環境科学
分野キーワード	任意	糖鎖、質量分析	生命科学, ライフサイエンス	材料、マテリアル、物理、化学		地球環境、気候変動、温室効果ガス、温暖化

現在議論中のテーマ

- 研究データにおけるメタデータとは何か？
 - これも古くて新しい問題
 - メタデータのフォーマットは
 - 主たる利用者（研究者等）向けの詳細なものであるべき？
 - 誰からも検索しやすいよう、平易なものであるべき？
 - 特定のデータ検索サイトを意識したものであるべき？
 - そして、それぞれ誰が書く役割を負うのか？

セッションD1：2024年6月17日 14:00-15:30

研究データのメタデータのあるべき姿とは？

研究データを公開し、利活用してもらうためには、データの説明（メタデータ）の付与が不可欠である。メタデータのフォーマットを検討するにあたっては、2つの観点が重要であると思われる。1つは、分野の専門家が利用しやすいようにデータの内容をより詳細に記述するという観点である。もう一つは、分野外の利用者であってもデータを探しやすい（よりFAIRな流通を実現する）ように、分野にかかわらない共通の項目で記述するという観点である。

本セッションでは、メタデータに関する議論のもととなった「研究データへのDOI登録ガイドライン」改訂版（2024年6月公開）について紹介するとともに、立場や目的、研究分野に応じて、求められるメタデータ項目が異なることに改めて焦点を当て、公開・流通用、研究用、それぞれの立場から、研究データのメタデータを記述する具体例や研究現場におけるメタデータ作成時の工夫等を紹介し、参加者間でディスカッションを行う。

- ・ 講演「研究データへのDOI登録ガイドラインの改訂版の紹介・メタデータに関する複数の観点」：
白井知子（国立環境研究所）
- ・ 講演「公開・流通用メタデータに求められる項目と入力例の紹介」：三上絢子（北海道大学）
- ・ 講演「研究用メタデータと公開・流通用スキーマとの乖離の例（大規模実験データのメタデータ）」：
中西 秀哉（核融合科学研究所）
- ・ 講演「宇宙地球科学分野における研究用メタデータから公開・流通用メタデータへの変換の取り組み」：
能勢正仁（名古屋市立大学）
- ・ 総合討論



仲間を募集しています

- JDARNでは各分野のリポジトリ関係者が集まって様々な議論を重ねています。
 - 地球観測
 - 環境
 - 情報
 - 物質・材料
 - 生命科学
 - 海洋
 - 情報通信
 - 地質
 - 人文学
- 研究データリポジトリの運営に関心があれば、ぜひJDARNに参加しませんか。
 - JDARNに参加するには、まず下記フォームからRDUFに入会を申し込んでください。
https://form.jst.go.jp/enquetes/jalc_rduf_admission
 - 既にRDUF入会済の方は、下記アドレスまでご連絡ください。
rd-repository@mr.jst.go.jp